

みんなの健康ラジオ

『食物アレルギー I』

(2020年3月19日放送)

横浜市皮膚科医会

山川皮ふ科

山川有子

即時型食物アレルギーの原因食物

	0歳	1歳	2, 3歳	4～6歳	7～19歳	20歳以上
1	鶏卵	鶏卵	魚卵	果物	甲殻類	小麦
2	牛乳	魚卵	鶏卵	鶏卵	果物	魚卵
3	小麦	牛乳	ピーナッツ	ピーナッツ	鶏卵 小麦	甲殻類
4		ピーナッツ	ナッツ	そば 魚卵		果物
5		果物	果物		そば	

卵アレルギー

卵アレルギーは、乳幼児期で最多。

卵を食べたあとにすぐに症状の出る即時型として発症することが多い。

成長とともに耐性を獲得し、卵アレルギーは減少していく。

多くが卵白のタンパク質が原因でその主要抗原はオボアルブミン、オボムオイドなどの卵白に存在する蛋白質である。

鶏卵の主要アレルゲン

主に卵白に存在する蛋白質

1. オボアルブミン (ovalbumin : OVA)
卵白のタンパク質の54%
60°Cで凝固 加熱で抗原性が著しく低下
2. オボムコイド (OM)
卵白のタンパク質の11%
100°Cの過熱でも凝固せず抗原性が残存

牛乳アレルギー

乳幼児期では2番目に多い。

新生児・乳児消化管アレルギー、食物アレルギーの関与する乳児アトピー性皮膚炎、即時型の症状などに関連する。

アレルギーの原因物質は様々であるが、特にラクトブロブリンやカゼインに反応することが多い。

年齢とともに耐性を獲得することが多い。

小麦アレルギー

乳児の食物アレルギーの原因物質として第3位
全年齢においても第3位。

症状としては、

乳児期の食物アレルギー

即時型小麦アレルギー

小麦依存性運動誘発アナフィラキシー

パン職人喘息

小麦接触皮膚炎

魚アレルギー

- ①魚介類に対する即時型アレルギー・アナフィラキシー
- ②アニサキスに対する即時型アレルギー・アナフィラキシー
- ③食肉による急性ヒスタミン中毒
- ④急性胃アニサキス症

甲殻類アレルギー

エビアレルギー 症状

食物依存性運動誘発アレルギー・口腔内アレルギー症候群・
即時型アレルギー・アナフィラキシーなど多彩

エビのアレルゲン

主要抗原：トロポミオシン（分子量35～38kDa）

注意点 エビ由来トロポミオシンと他の生物のトロポミオシンの相同性
90%以上：エビ、ロブスター類、カニ類